



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付け上のお願

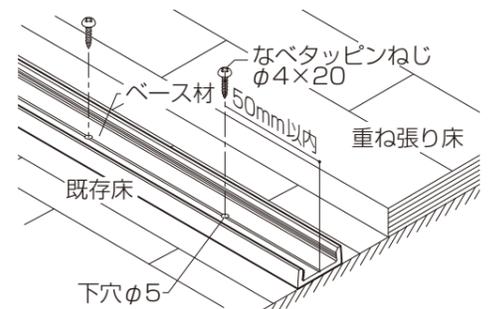
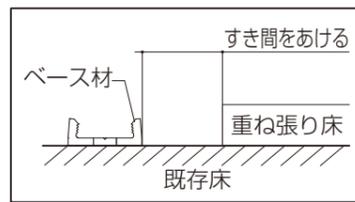
- アジャスタブル段差解消部材、アジャスタブル段差解消部材スリム、アジャスタブル継ぎ手部材を取付ける場合は、手回しドライバーもしくはクラッチ付き電動ドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、部材が変形したり、割れたりする場合があります。
- 既存床をサンダー、カンナなどで平滑にし、不陸をなくしてから取付けてください。
- 部材にガムテープ、クラフトテープなどの粘着力の強いものを直接張らないでください。テープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。養生の際は、必ず別売りの養生テープ(LZZZZ004)を使用してください。
- 使用する接着剤は市販もしくは有償部品(NZZZZ223)のSG-1(変成シリコン樹脂系接着剤)をご使用ください。
- ベース材に隣接する重ね張り床の端部は、必ずサネ部を切り落として納めてください。ツバ材が割れる可能性があります。

■部品・部材の明細

部品名・姿図	アジャスタブル段差解消部材		アジャスタブル段差解消部材スリム		アジャスタブル継ぎ手部材		アジャスタブル段差解消部材用端部キャップ		アジャスタブル段差解消部材スリム用端部キャップ	
	本体	入数	本体	入数	本体	入数	本体	入数	本体	入数
	L=2000mm	1	L=2000mm	1	L=2000mm	1		1		1
	L=2000mm	1	L=2000mm	1	L=2000mm	2		1		1
	L=2000mm	1	L=2000mm	1	L=2000mm	1				
	取付けねじ(なべタッピンねじφ4×20)	13	取付けねじ(なべタッピンねじφ4×20)	13	取付けねじ(なべタッピンねじφ4×20)	13				

■取付け順序

- ①ベース材、本体、ツバ材を必要寸法に切断します。
- ②ベース材を取付けねじで既存床に固定します。このとき、ベース材と重ね張り床との間に、すき間をあけて、取付けてください。また、ベース材の端部から50mm以内の所に、下穴(φ5)をあけて取付けねじで固定してください。



※各ベース材の取付け位置は下記表を参照してください。
※重ね張り床の端部は、必ずサネ部を切り落として納めてください。

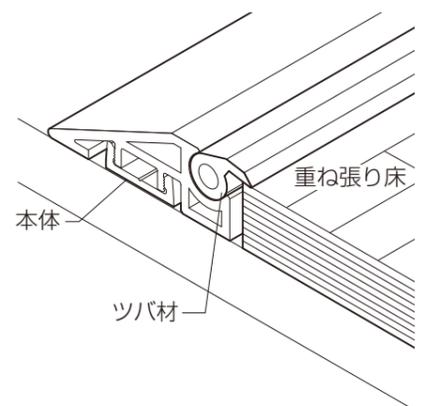
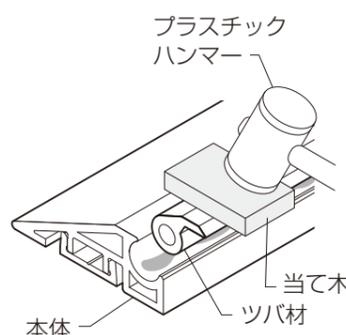
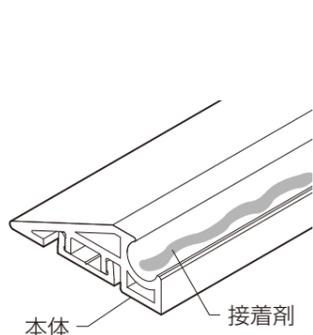
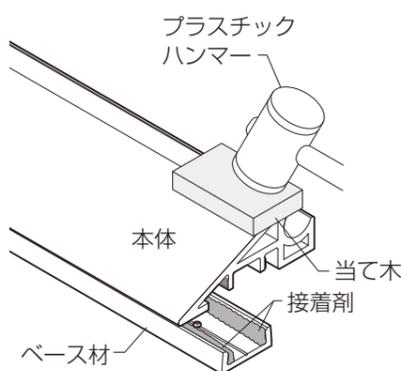
■各ベース材取付け位置一覧

図	アジャスタブル段差解消部材	アジャスタブル段差解消部材スリム	アジャスタブル継ぎ手部材 注1)
取付け位置	17mm	17mm	7mm

注1)：アジャスタブル継ぎ手部材で使用時に段差が12mmより大きくなる場合は、ベース材の下に埋木を入れて調整してください。

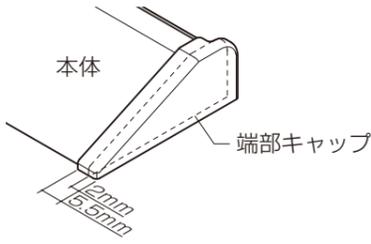
- ③ツバ材を外してください。
- ④ベース材を床面に取付け、ベース材のはめ合わせ部に、市販もしくは有償部品(NZZZZ223)の接着剤SG-1を塗布し、本体に当て木をあて、プラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。
- ⑤外したツバ部の溝に、市販もしくは有償部品(NZZZZ223)の接着剤SG-1を塗布してください。
- ⑥外したツバ材に当て木をあて、プラスチックハンマーなどでたたき込んで取付けてください。

- ⑦ツバ材と重ね張り床との間にすき間がないようにツバ材を取付けてください。



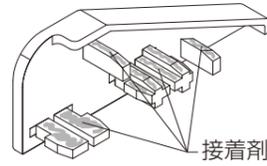
■端部キャップを取付ける場合

①端部キャップは片側で2mmの厚さがあります。端部キャップ取付け後の寸法を考えて、あらかじめアジャスタブル段差解消部材およびベース材の長さを調節してください。

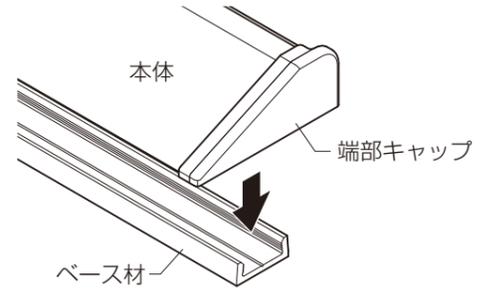
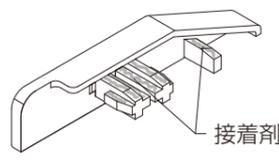


- ②端部キャップのアジャスタブル段差解消部材に差し込む突起部に市販もしくは有償部品(NZZZ223)の接着剤SG-1を塗布してください。
- ③段差解消部材の木口に端部キャップを取付けてください。
- ④端部キャップを取付けた状態で、段差解消部材をベース材に取付けてください。本体、ツバ材の取付け方法は前項の取付け手順を参照してください。

【接着剤の塗布】
段差解消部材用



段差解消部材スリム用



■取付け図

